

診療放射線技師会報

No.235

2021・5・10

〒 028-3603 紫波郡矢巾町西徳田 5-20-70 (一社) 岩手県診療放射線技師会
☎ 019 (698) 2155 FAX 019 (698) 2156 e-mail iwateradiolotec @ oboe.ocn.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.iwate-rt.com/>

第78回 定時会員総会のご案内

会員各位

一般社団法人岩手県診療放射線技師会
会長 村上 龍也

新緑の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より当技師会の事業運営につきましては、多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、昨年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された年であり未だ終息の兆しは見えておりません。第78回定時会員総会は感染予防の観点から昨年と同様、規模を縮小し書面表決を集めて開催いたします。

会員各位におかれましては、参加を許せる範囲で出席いただきたくご案内いたします。

記

日時 : 令和3年5月22日(土) 午後2時30分～4時30分
会場 : サンセール盛岡

総会次第

会長挨拶
表彰(報告のみ)

- ①岩手県診療放射線技師会会員20年功労表彰
- ②柳澤賞
- ③第19回岩手県診療放射線技師会学術大会最優秀演題賞

総会成立宣言
議長選出
総会職員指名
議事

- | | |
|-------|--------------|
| 第1号議案 | 令和2年度 事業報告 |
| 第2号議案 | 同 決算報告 |
| 第3号議案 | 公益目的支出計画実施報告 |
| 第4号議案 | 令和2年度 監査報告 |
| 第5号議案 | 令和3年度事業計画 |
| 第6号議案 | 同 収支予算報告 |
| 第7号議案 | 定款改正 |
| 第8号議案 | 選挙管理委員報告 |

議長解任

第78回定時会員総会 書面表決提出のお願い

第78回定時会員総会は、コロナ感染症対策を行って規模を縮小し開催いたします。会員皆様の意志表示は書面表決が中心となります。欠席の方は必ず書面表決票の提出をお願いいたします。

提出の際は氏名・捺印を忘れずをお願いいたします。

記

- 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告
- 第 2 号議案 令和 2 年度決算報告
- 第 4 号議案 令和 2 年度監査報告
- 第 7 号議案 定款改正

※ 書面表決票の提出は 5 月 17 日（月）必着

岩手県診療放射線技師会20年功労表彰 表彰規程第2条第3号による表彰（敬称略）

13名

| 会員番号 | 氏名 | 所属 |
|------|--------|---------------------------|
| 345 | 鈴木美保子 | 自宅 |
| 346 | 菊池 充 | 岩手県立高田病院 |
| 347 | 渡辺 孝明 | 岩手県予防医学協会 県南センター |
| 348 | 千葉 亮 | 岩手医科大学附属病院 内丸メディカルセンター |
| 350 | 一方井久美子 | 岩手県予防医学協会 |
| 351 | 女鹿 隆徳 | 岩手県予防医学協会 |
| 352 | 土屋 初美 | 三愛病院 附属矢巾クリニック |
| 353 | 夏井 大介 | 岩手県立一戸病院 |
| 354 | 佐々木義明 | 渋民中央病院 |
| 355 | 細川 和義 | 日高見中央クリニック |
| 356 | 佐藤 美夫 | 岩手県立久慈病院 |
| 357 | 小野 美和 | 岩手県立胆沢病院 |
| 358 | 中屋 秀文 | 一関病院 |

令和3年度（第22回）柳澤賞受賞者

（敬称略）

会員番号 325
 氏名 下斗米 裕利
 所属 岩手県立中央病院

【受賞理由】

当会より東北地域女性活躍推進班みちのくこまちに役員として派遣、女性の職場環境や働き方改革を推進されている。東北放射線医療技術学術大会ではみちのくこまちのセッションを担当しマンモグラフィーの精度管理等に尽力した。また、ピンクリボンの会のイベント等でマンモ検診の受診の向上に務めている。

第19回岩手県診療放射線技師会学術大会 最優秀演題賞

（敬称略）

会員番号 393
 氏名 高橋 伸光
 所属 奥州市総合水沢病院

【受賞理由】

表彰規程第2条第2号による表彰

審査は、団体らしさ・オリジナリティ・分かりやすさ・メッセージ性・抄録の5項目で審査される。現在、日本診療放射線技師会では技師の読影補助について推進している。今回の発表は虫垂の走行バリエーションの頻度を明らかにして読影補助業務の一助になり、特に“団体らしさ”の審査項目で評価が高かった。

令和 2 年度 第 6 回通常理事会報告

令和 2 年度第 6 回通常理事会は令和 3 年 4 月 10 日午後 2 時より web 会議で開催され、第 78 回定時会員総会について新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み昨年同様縮小開催で行うことを全員一致で決定いたしました。また令和 3 年度事業の開催方針について下記の通り理事間で意思統一を計りましたので報告いたします。

令和 3 年度事業開催の基本方針

現在コロナ感染症の終息のメドが立っていない状況のなか、日放技からの指針や厚生労働省医政局医事課より年度当初における研修会等の留意事項について通達が出されています。web 会議活用や集会を伴う研修会等はコロナ感染症の状況をみながら開催することとしました。

また、例年 6 月開催のフレッシューズセミナーは開催方法や開催時期について検討中です。

ご理解をお願いいたします。

【別紙】 **年度当初の研修での留意事項について**

1. **オンラインによる研修の検討**
人の移動、人の集合による三密を避ける観点から、可能な限り、オンラインによる研修の開催を検討する。
2. **業種別ガイドラインの遵守徹底**
研修や出張等については、業種別ガイドライン（オフィスにおける新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン等）の遵守徹底を図る。
3. **研修時期の見直し**
感染状況等を踏まえ、研修の時期を見直す（分散開催も検討）。
4. **研修時の懇親会等の自粛**
感染状況等を踏まえ、研修時に行われる懇親会等は、当面、開催の自粛を強く促す。

選挙管理委員報告

昨年、第 77 回定時会員総会で、役員選任規程を改正し今回新規での初めての運用となります。

役員選任規程

第 3 条 選挙管理委員は、各地区より 1 名選出し、理事会にて承認する。

上記規程により各地区より選出された選挙管理委員を令和 2 年度第 6 回通常理事会にて承認しましたので報告いたします。選挙管理委員の報告は定時会員総会、議事、第 8 号議案に挙げ公示いたします。

| | 氏 名 | 所 属 |
|------|-------|-----------|
| 北部地区 | 富岡 拓己 | 岩手県立二戸病院 |
| 盛岡地区 | 一方井正宏 | 岩手県予防医学協会 |
| 中部地区 | 牛崎 雪絵 | 岩手県立胆沢病院 |
| 南部地区 | 門前 秀成 | 岩手県立大船渡病院 |
| 三陸地区 | 佐々木志葉 | 岩手県立宮古病院 |

訂正とお詫び

会員の皆様におかれましては日頃、技師会の活動にご協力ありがとうございます。
さて、3 月に発行いたしました技師会機関誌 No47 におきまして掲載間違いがありました。
お詫びして訂正いたします。

98 ページ 第 36 回日本診療放射線技師学術大会

- | | | |
|---|--------------------------|--------------------|
| 誤 | C T 線量管理における検査プロトコル名の重要性 | |
| | 岩手医科大学附属病院 | ○廣田 靖之 太田 佳孝 村中 雄二 |
| 正 | C T 線量管理における検査プロトコル名の重要性 | |
| | 岩手医科大学附属病院 | ○廣田 靖之 太田 佳孝 村中 健太 |

地区会だより

北部地区

北部地区診療放射線技師会総会報告

今年度の総会は新型コロナウイルス蔓延防止対策として、書面表決にて行いました。初めての試みで心配でしたが会員全員から返答を頂くことができ、無事採決されました。

この書面表決の結果で反対が1票ありましたが、北部地区会長が会員に内容を確認し説明することでご理解いただきました。また、書面表決の結果を北部地区会員にお知らせする際、岩手県診療放射線技師会会長より頂いた「岩手県診療放射線技師会の活動と日本診療放射線技師会の情勢」の内容を添付してお渡ししております。こちらには新たな統一講習会について等が載せられているため、会員に周知することができました。

令和 2 年度の研修会は、新型コロナウイルスが岩手県で一旦落ち着いた10月に対面にて1度開催、12月にも計画をしておりましたが、中止となりました。

現在も終息が見えない状況ですが、会員とは情報交換をしながら今後の活動を行いたいと思います。

(通信員 夏井 大介)

盛岡地区

第40回盛岡地区診療放射線技師会総会報告

第40回盛岡地区診療放射線技師会総会は、令和3年3月27日(土)、岩手県対がん協会を会場にCOVID-19感染拡大状況を考慮し、書面議決を用いて開催いたしました。

当会員全227名のうち、175名の会員から書面表決書をご提出いただきました。議案は令和2年度経過報告、決算報告、監査報告、令和3年度事業計画(案)、予算(案)で全ての議案において書面表決書で回答が得られた会員の過半数以上が賛成であったため承認されました。

特筆すべき点は、令和2年度の事業でCOVID-19感染拡大により予定していた事業を通常開催することができない中、当会と県技師会との連携企画として「COVID-19感染症対策について」県技師会災害対策委員会・太田佳孝会員および会員報告として盛岡市立病院・柳渡加奈絵会員、岩手県立中央病院・

阿部義幸会員、岩手県対がん協会・菅原将人会員に情報提供いただき、冊子にまとめ、当会全会員に配布し、情報提供することができました。また臨時総会を開催し、災害や感染症などで集会が困難な場合の総会等における書面表決に関する規約改正を行うことができました。一方、会員親睦事業である地区間交流会ならびに新年交賀会は残念ながら中止となりました。

永年功労表彰は、永年に亘り当会の発展に尽力された4名、奥寺和夫会員(対がん協会)、渡辺良政会員(岩手医大)、小田島智会員(岩手医大)、勝田元会員(県立中央病院)が受賞されました。

今年度は選挙管理委員が改選となり、一方井正宏会員(予防協会)、荒屋敷真会員(対がん協会)が就任されました。

昨年同様、今回の総会も冒頭のとおり会場型とせず、書面表決により開催いたしました。書面にて複数の会員から貴重なご意見を頂戴いたしましたので今後の運営に役立たせていただきます。

最後になりますが、COVID-19の感染の終息が未だ見えない状況ではございますが、今後も会員の皆様のご理解とご協力を賜りながら、可能な限り事業を推進して参りますので何卒、宜しくお願い申し上げます。(通信員 井上 貴史)

中部地区

岩手県中部地区診療放射線技師会

研修会・総会報告

令和3年3月6日に中部地区診療放射線技師会研修会及び通常総会を、総合花巻病院を会場にweb開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、関係各所、役員と協議を重ね、Web形式(zoom)とし、同施設内記念ホールにて配信と総会準備のため執行部役員数名で感染予防策を講じての開催となりました。皆様にはご理解とご協力をいただきありがとうございました。なお、懇親会は中止としました。

研修会は35名の方にご参加いただきました。

(株)千代田テクノル工藤亮裕さんから「医療法施行規則並びに電離放射線障害防止規則改正のポイント～眼の水晶体線量限度の変更について～」と題して令和2年より施行された医療法施行規則変更のおさらいから令和3年4月施行予定の表題テーマについてご講演いただきました。分かり易い解説と

最新の情報など、障害防止措置の実際を理解することが出来ました。

会員からの質問で水晶体用線量計に関しコストやサイズ、簡便性などが問題として挙げられ、改善要望の声が多いことを伝えて時間となりました。

続いて村上龍也会長より「岩手県放射線技師会の活動と日本診療放射線技師会の情勢」と題してコロナ禍の中で変化していく技師会の情勢や新たな統一講習会などについてお話いただきました。今回はWeb形式での依頼でしたが同様の講演が続いたということで、ご多忙の中ありがとうございました。

総会では大会成立宣言の後、議長に立花優会員を選出し、議事が進行されました。全ての提案事項において承認を得る事が出来ました。また選挙管理委員の選出や転勤に伴う役員変更は執行部に一任いただくことが承認されました。

中部地区事務局任期は2年となります。研修会等を通じて、会員相互の親睦、情報の共有がはかれるよう努めてまいります。

(総合花巻病院 菊池 昭仁)

南部地区

第40回南部地区診療放射線技師会総会報告

2月に地区内でクラスターが発生するなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、集会型の総会及び懇親会の開催を断念し、会員宛に総会資料等を配布し第1～5号議案についてそれぞれ反対、保留、賛成の意思表示を頂く方式で行いました。会員49名中43名より返信頂き、全ての議案で43名の賛成により可決されました。

新型コロナウイルス感染症は変異株が主流になりつつあるなど終息どころか、さらなる拡大の兆候もあり、今年度の活動も制限せざるを得ません。一日も早く、終息し当たり前の日常、普通の生活が送れるように戻って欲しいと思います。

(南部地区事務局)

三陸地区

第50回三陸地区診療放射線技師会

研修会・総会報告

令和3年3月6日(土)、ZOOMを利用して第50回三陸地区放射線技師会総会および研修会を初のweb開催にて行った。

技術的な研修会は、令和3年2月4日(木)の15

時から、三陸地区県立病院の研修会と合同で、こちらもweb開催にて行った。株式会社Philips Japanの森脇聡氏による「MRI装置の最新技術について」という演題にて約1時間講演していただいた。

平日の夕方からという時間にも関わらず、14名という参加者に拝聴していただいた。なんとといっても、液体ヘリウムの量が7リットルでマグネットを冷却し、万が一の場合の消磁からの復旧作業もメーカー対処ではなく我々で行えるということが衝撃的であった。

令和3年3月6日(土)の総会には、県技師会の村上龍也会長にも参列していただき、会員総数27名中出席者15名、委任状12通により総会は成立し、開会した。

議長に県立山田病院の下澤孝幸会員を選出し、令和2年度会務報告、決算報告、会計監査報告が異議なく承認された。

その他の議事で、今年度で技師会を退会し空白となる三陸地区役員と、任期満了の選挙管理委員の人選を行い、執行部推薦にて満場一致で決定した。また、このコロナ禍であり、活動も行えない状況のため、執行部より再来年度分(令和4年度分)の会費を徴収しないと提案し、異議なく承認していただいた。

総会後半になってしまったが、今年度で定年退職され、また岩手県知事表彰された三陸病院の清水浩明会員を紹介し、記念品をお贈りすることを報告した。清水浩明会員は、総会に出席していただき、あいさつをいただいた。

総会後に県技師会報告として、県技師会の村上龍也会長に「日放技及び県技師会の今後の動向について」講演していただいた。

今年度の表彰者や技師会活動報告に続き、新たな統一講習会の開催という情報提供があった。昨年もお話ししていただいた、技師の穿刺等の法令改定により可能となる業務等について、統一講習会を開催し、その講習会は技師免許を有する全員が受講する【義務研修】となるとのことだった。

このことについては、会員からもたくさんの質問があり、村上会長も分かる範囲で丁寧に回答していた。

今後の日放技の動向を注視し、三陸技師会としてもできることがあれば積極的に活動を推進していきたいと考える。

(三陸地区事務局)

